

本人・保護者と共につくる支援シートI これまでの支援 これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
よこすか たろう 横須賀 太郎	〇〇幼稚園・保育園		〇横須賀 花江（母親） 〇浦賀 道子（担任）
	△△小学校		

*記入者には〇印をつける

Needs	本人・保護者の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・「こだわり」なのか「わがまま」なのか判断に迷うことがあり、気分にも波が見られる。運動会や学習発表会等で、みんなと同じ行動ができるようになることを望んでいる。 ・急に予定が変わるとそれを受け入れることが難しいので、集団生活を通して自分の考えていることと違ったことがあっても受け入れられるようになってほしい。
	健康 家庭生活・	<ul style="list-style-type: none"> ・偏食が目立つ。 ・ぜんそくで定期的に通院している。 ・好きなDVDやパソコンでYouTubeを見て楽しむことが多い。 ・外ではすべり台や自転車で遊ぶ。一人遊びが多い。

Do	項目	内容
これまでの 取り組み	生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いが多く、食べられるものでも気分によって食べようとしないことも多い。 ・ご飯は食べる前に温めると食べられることが多い。
	活動 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の流れは理解しているものの、自発性が乏しいので、その都度促しが必要であり、個別に声かけをしている。 ・言葉の数が少なく、自分の気持ちを十分に伝えられないことが多いので、気持ちが伝えられるような言葉を引き出すような声かけをしている。

See	これまでの 取り組みの 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面 偏食はまだ目立つ。気分によってムラがあるが、今後もいろいろな方法を試しながら対応していく必要がある。 ・活動 コミュニケーション 見通しを立てることで、スムーズに活動に参加できるようになってきた。今後も事前にスケジュールを伝えていくことが必要である。 少しずつ自分の気持ちを伝えられるようになってきた。
-----	----------------------	---

Plan	これからの 計画（一年間）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での食育や家庭での食事作りの手伝い等を通して、食べることに意欲をもたせるために学校と家庭との連携を図る。 ・学校生活の中でも、見通しを持って生活を送れるよう、視覚的な支援も使いながら事前にスケジュールを伝えていく。 ・友達との関わりの中で上手く気持ちを伝えられなかったときには、自分の気持ちを話せるようゆっくりと話しを聞く機会を設ける。また、どのように伝えればよかったのかを教える。
	受け手側の学校・ 機関で記入します	
	これからの 指導・支援	